

成長戦略のコアとしてのAIへの投資について

東京大学 松尾豊

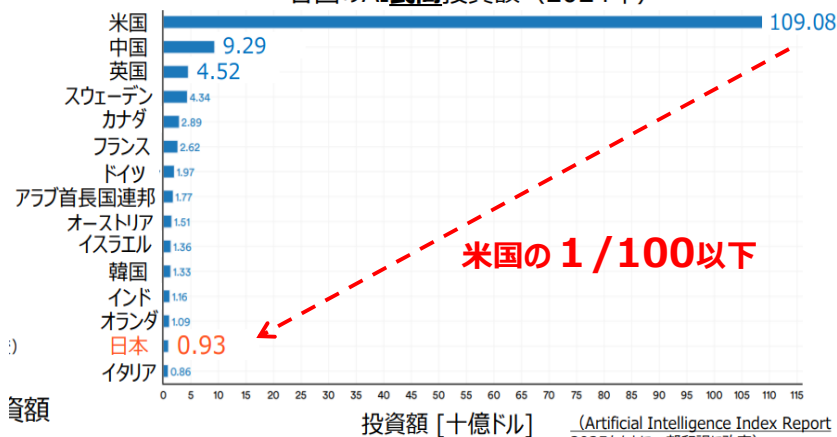


日本のAI投資は民間投資はもとより、政府投資に関しても諸外国に劣後している。政府の率先したAI活用、経済安全保障を念頭においたフルスタックなAI開発、AGIに向けた開発支援、スタートアップの育成、著作権問題含めAIのもたらすリスクへの対応など、政府の積極的なAIへの投資、施策が重要である

AIは経済成長の不可欠なエンジン。各国で最重要政策に据えられているが、日本では民間だけでなく、政府によるAI投資も海外と大きな差がある

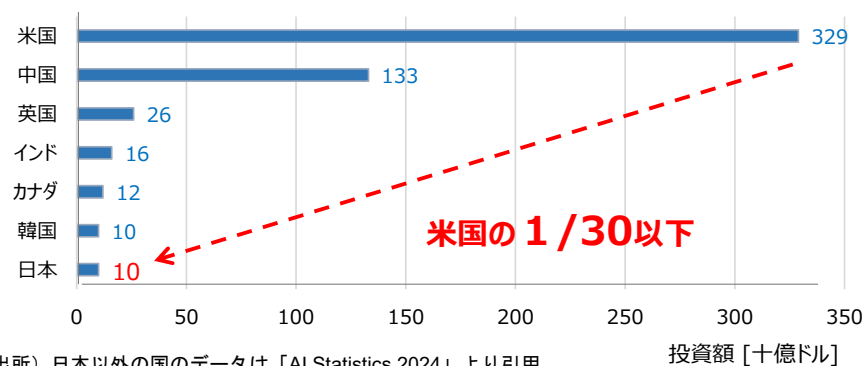
低いAI民間投資

各国のAI民間投資額（2024年）



低いAI政府投資

2019年-2023年の5年間ににおける各国政府のAI関連投資額



（出所）日本以外の国のデータは「AI Statistics 2024」より引用。
日本のAI関連投資額については内閣府のデータを用いて作成

求められる政府のAI投資の方向性

- ・ 民間での活用の呼び水となるためにも、政府の率先したAIの活用とそのための投資
- ・ 経済安全保障を念頭に、半導体からクラウド、基盤モデル、アプリケーションまで、「フルスタック」でのAI開発・活用能力を国が備えるための投資
- ・ 製造業・金融・素材等をはじめとする日本の重要産業と連携するAIスタートアップの創出・支援、AI開発全体を底上げするデータセンター・電力等のインフラ整備、AGI（汎用人工知能）に向けた挑戦的な開発の促進、Physical AIやAI for Scienceなど大きな可能性をもつ分野の研究開発など、広くAIエコシステムを支える仕組みづくりへの投資
- ・ ソーシャルメディアでの偽・誤情報等の対策、AIによる学習・生成を行う際の著作権者への対価還元の仕組みの整備など、AIのネガティブな側面への対応を進め、AIを安心して使えるようにする取り組みへの投資